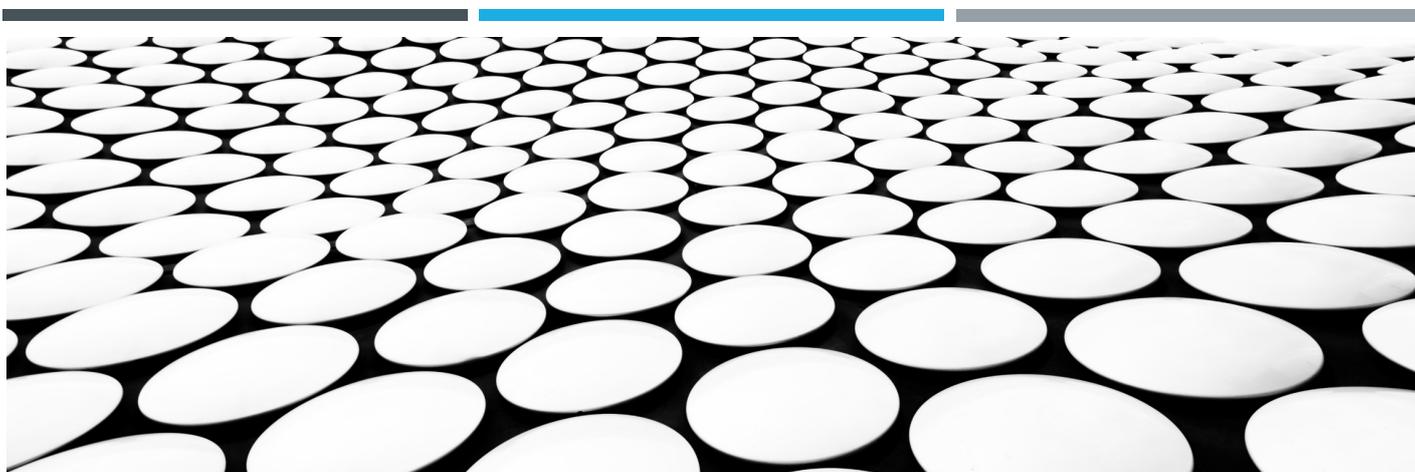


新型コロナ時代における フィールドワークのいま、そしてこれから



2021年2月13日(土) 13:00-16:00 (Zoomによる)
Feb. 13th (Sat) 2021, 1:00 p.m. – 4:00 p.m., via Zoom

- 参加方法:参加ご希望の方は、下記のURLまたはポスター内のQRコードより
2月12日(金)12:00までにお申し込みください。登録後、ZoomのURLがe-mail
アドレスに自動返信されます。 <https://forms.gle/6ep662gb3hDKNPvQ9>
※イベント内で配布した資料があった場合、その資料等を第三者との共有や貸与、SNSを含む他の媒体への転載、また他で
使用することは固くお断りします。
- 参加費:無料
- 言語:日本語
- 主催:東京都立大学人間健康科学研究科 / 人文科学研究科
- 問い合わせ: fwrl.tmu@gmail.com



趣旨

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）により、全世界で人の流れ、モノの流れ、お金の流れが滞るなか、フィールドワーカーはなんとか歩みを止めることなくその打開策を探っている。

特に、フィールドワークリサーチ・ラボのメンバーには、医療従事者でありかつ医療現場をフィールドとする者がいる。かれらは、一方で、医療現場で起こっていることを探究し、何らかの提案ができないかと思いつつも、他方で、人的・物的資源の不足による医療崩壊が叫ばれる現状においては、フィールドに入ることは適切ではないのではないかと焦りもする。コロナ禍におけるフィールドワーカーの立ち位置は、フィールドワーカー自身の専門性によって、あるいはフィールドの状況によってさまざまである。いまこの状況をどのようにわれわれは捉え、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を生きていこうとするのか。それぞれのフィールド体験とフィールドワーク教育のありかたについて検討することが求められている。

本ワークショップでは、現在大学院で学位取得に向けて研究を進めてきた大学院生の困難と対応、そして教育する側の課題について話題提供をし、それについてさまざまな立場から意見交換をすることによって、フィールドワークの現在と未来について考えてみたい。

全体スケジュール

13:00～	開会のあいさつ
13:05	西村ユミ（東京都立大学人間健康科学研究科）
13:05～	趣旨説明
13:10	野村亜由美（東京都立大学人間健康科学研究科）

第1部：フィールドワークへの新たな困難と対応 司会 西村ユミ（人間健康科学研究科）

13:10～	原島郁実／Ikumi HARASHIMA（小児看護学領域）
13:30	「重症心身障害児・医療的ケア児を対象とした児童発達支援事業所における多職種と協働する看護職の役割」
13:30～	田村彩／Aya TAMURA（作業療法学領域）
13:50	「放課後等デイサービスにおける作業療法士の体験」
13:50～	福田知之／Tomoyuki FUKUDA（成人看護学領域）
14:10	「救命救急センターで働く看護師の視点からみた代理意思決定に関する現象学的研究」
14:10～	斎藤俊介／Shunsuke SAITO（社会人類学教室）
14:30	「コロナ禍での海外フィールドワーク：タイ北部の観光村における気づき」

第2部：フィールドワーク教育WITHコロナ 司会 田沼幸子（人文科学研究科）

14:40～	河野正治（東京都立大学人文科学研究科）
15:00	「それでも野外調査に備えるということ：フィールドを見据えた課題探索の意義」
15:00～	深山直子（東京都立大学人文科学研究科）
15:20	「人類学的な定点観察に向けたオンライン実習の試み」
15:20～	質疑応答
15:55	
15:55～	閉会のあいさつ
16:00	綾部真雄（東京都立大学人文科学研究科）